

北杜市地域福祉計画第1回策定委員会議事録

(1) 会議名

北杜市地域福祉計画第1回策定委員会

(2) 開催日時

平成23年7月28日(木)

午後1時30分～午後3時30分

(3) 開催場所

西館特別会議室

(4) 出席者(委員10名、事務局10名 計20名)

委員：長田伯雄、齊木正光、齊藤満、取屋幸恵、長坂祐光、仲田邦男

深澤久美子、原富士子、谷戸武雄、吉田百加利

事務局：原福祉部長、米田福祉課長、織田福祉課長補佐、福祉課福祉担当伴野リーダー、福祉課福祉担当木次、浅川子育て支援課長、山田健康増進課長

唐木介護支援課長、地域包括支援センター宮沢リーダー、(株)ジャパンインターナショナル総合研究所佐藤

(5) 議題

- ① 北杜市地域福祉計画の概要について
- ② 地域福祉に関する北杜市の取り組みについて
- ③ アンケート調査項目の確認について
- ④ 一人暮らし高齢者等の生活アンケートについて

(6) 公開・非公開の理由

公開

(7) 傍聴人の数

1名

(8) 審議内容

1 開会のことば

(課長)

2 委嘱状の交付

- ・市長が委員10名に委嘱状を交付

3 市長あいさつ

- ・会議出席の御礼
- ・審議についての依頼

4 委員自己紹介

5 会長・副会長選出

(課長) 要綱により、委員の互選によって、委員会に会長1名及び副会長1名を置く

こととなっている。まず、会長の選出をお願いしたい。

(委員) 福祉分野において豊富な経験がある社会福祉協議会会長の長田委員をお願いしたいと思う。

(課長) 委員のご意見でよろしいか。

～拍手をもって全委員賛成～

(課長) 次に副会長の選出をお願いしたい。長田会長からご意見をお願いしたい。

(会長) 吉田委員をお願いしたいがいかがか。

～拍手をもって全委員賛成～

～市長退席～

6 会長・副会長あいさつ
就任のあいさつ

7 議事録署名人選出

(課長) 市の取り決めにより、2名以上の署名を得ることとされている。委員の持ち回りでお願いしてもよろしいか。第1回目は、齊木委員及び齊藤委員にお願いしてもよろしいか。

(委員) 異議なし。

8 議事

① 北杜市地域福祉計画の概要について

(事務局) 地域福祉計画について概要を説明する。

(議長) 質問があるか。

(委員) DV問題との関係は。

(事務局) DV問題は、子育て支援課が担当しており、現在、相談員を配置し、相談窓口を開設して対応している。福祉課と連携しながら、本計画に取り組みたい。

(委員) ヒアリング調査の内容は。

(事務局) 庁内関係課の職員に対してヒアリングを行うものである。

(委員) 社会福祉協議会が策定する地域福祉活動計画との関係は。

(事務局) 第1次地域福祉計画をもとに、活動計画を策定している。第2次地域福祉計画が策定されれば、活動計画も見直しを行う。

(委員) 第1次計画の評価はどのように行うか。

(事務局) アンケート調査に、前回と同様の調査項目をもりこみ、どのような変化があったか検証したい。

② 地域福祉に関する北杜市の取り組みについて

(事務局) 地域福祉に関する北杜市の取り組みを説明する。

(議長) 質問があるか。

(委員) 保健福祉推進員の活動内容は。

(事務局) 高齢者を対象にしたはつらつシルバーの集いの開催や、ラジオ体操及び総合健診の推進等を行っている。

(委員) 災害時要援護者支援制度について、登録者は278名だが、登録すべき人は、実際もっといるのではないか。

(事務局) 登録者は、少ないと思っており、今後も多くの人が登録されるよう、積極的に推進していきたい。

(委員) 大震災以降、市民の関心も高いので、民生委員としても事業の推進に協力していきたい。

(委員) 地域に登録したほうがよいとみられる高齢者がいるが、登録の進め方はどのようにしたらよいか。

(事務局) 申請書は、本庁福祉課及び各総合支所の窓口にも備え付けてあり、申請書と一緒にマニュアルがついているので、それを活用し、登録を勧めていただきたい。

(委員) 食生活改善推進員の地域での活動はあるのか。

(委員) 地区の様々な催しの際に、協力をいただいている。

(事務局) 各地域で活動していただいております、活動報告も提出されている。催しの際には、積極的に活用していただきたい。

(委員) 自主防災組織とはどのようなものか。

(事務局) 防災訓練を実施する単位で組織されており、市内で32団体が登録されている。災害時要援護者支援制度は、自主防災組織の一部の活動となっており、自主防災組織の組織化・育成についても推進していきたい。

(委員) 大災害の際には、多くの人員が必要となり、事前の対策が重要となる。実効性のある組織となることが重要。

(委員) 計画策定の全体的な流れは、この資料の趣旨は何か。

(事務局) 議論を行うに当たって、現在の事業では何が足りないのかを確認するためのもの。

③ アンケート調査項目の確認について

(事務局) アンケート調査項目を説明する。

(委員) 回収率は何%を想定しているか。また、回収率が低い場合は、追加送付する予定はあるか。

(事務局) 目標は50%ほど。回収率が上がるように、わかりやすい内容にしたい。また、追加送付は考えていない。

(委員) 問11について、DV問題、セクハラ問題を選択肢に入れたらどうか。

(事務局) DV問題は選択肢に入れたい。セクハラ問題は、職場に限られているため、本アンケートではとりあげないほうがよいのではないかと。

(委員) 関係団体に対してヒアリングは実施するのか。

(事務局) まだ決定していないが、実施する方向で検討している。

④ 一人暮らし高齢者等の生活アンケートについて

(事務局) 一人暮らし高齢者等の生活アンケートについて説明する。

(委員) 字が書けない高齢者もいるので、訪問調査等によりしっかりアフターフォローしていただきたい。

(事務局) 包括支援センターと連携し、既に訪問調査を実施している。

⑤ 意見交換

(委員) 市で行っている事業・制度を知らない方が数多くいる。広報等だけでは細部まで行き届かないこともあり、人の言葉で伝えることが重要であり効果的である。

(委員) 今後、地域力をどう活かすかが重要となってくる。

(議長) 以上をもって、本委員会に付された案件については、全て終了する。

9 閉会のことば

以上